

奈良県議会議員 さいとう 有紀

YUKI
*I never give up on the future
of Goto City.*
SAITO
活動報告 vol.2026 WINTER



令和7年9月定例県議会 本会議代表質問
(令和7年9月19日)

五條市の未来を あきらめない NEWS

新春を迎え

謹んで新春をお祝い申し上げます。昨年の9月議会では、県議会議員に当選させていただいてから初の代表質問に立ち、続く予算委員会でも県民生活に直結する8項目の質疑を行いました。また昨年は厚生委員長を仰せつかるなど、多くの役割を担わせていただき、県政における様々な課題に向き合うことのできた一年となりました。これからも皆様のお声にしっかりと耳を傾け、学びの機会を得ながら研鑽を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様にとって幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

多くの使命をいただき、学びを深めた一年

●厚生委員長を拝命

奈良県議会厚生委員会の委員長を仰せつかりました。さいとう有紀は2年間、建設委員会の委員として主にインフラ整備などのハード面の課題に向き合ってきましたが、この度新たに、保健・医療・福祉に関わるソフト面の課題解決に取り組むこととなります。今後皆様が抱える多様な課題に寄り添えるよう、視野を広げ、学びを深めてまいります。



●自由民主党奈良県支部連合会 総務会長に選任

自由民主党奈良県支部連合会総務会長の役職を拝命いたしました。今後先輩方にご指導いただきながら、責任の重さをしっかりと受け止め、一歩ずつ学びながら確実に進んでまいりたいと思っております。



五條市新商工会館竣工式

1984年6月15日生まれ

【略歴】

智辯学園高等学校卒業
京都女子大学文学部国文学科卒業
五條市議会議員

【家族】

夫、息子2人

【所属党派等】

自民党優（やまと）

自由民主党奈良県支部連合会総務会長



“SNSでも想いを発信”



さいとう有紀



会派「自民党倭」を代表し、代表質問に臨みました

◎9月定例会本会議において、自民党倭を代表し奈良県の未来を支える以下5つのテーマについて質問しました。

1 県土強靱化に向けた取り組み

奈良県南部地域を中心に、道路・橋梁・通信網などの整備を強化するなど、災害に強い奈良県をつくるため、国の強靱化計画を活用した地域インフラ整備を提案。

知事からは国の財政化支援をしっかりと活用し、県内事業を着実に進めていくといった前向きな答弁が示されました。

2 防災体制の充実・強化

県庁が災害対策本部として機能し、迅速な初動体制を構築できるような執務環境の整備を求めました。

「県庁が被災時にも機能することが、県民を守る第一歩である」と訴えました。

3 五條県有地での消防学校移転整備

訓練スペース不足・他府県への依頼という現状を改善するため、五條市に整備されることとなっている「南部中核拠点」を活用した新消防学校の移転整備を提案。

知事からも「南部中核拠点との一体整備を早期に進めていく」との答弁がありました。

災害から暮らしを守る新拠点「消防学校」が五條市へ！！

現在の宇陀市の消防学校は老朽化が進んでおり、機能の更新が必要とされています。

最新の消防訓練施設と、災害時の広域支援機能を併せ持つ南部中核拠点との一体整備が進められることにより、「命を守る力」が五條の地で生まれ、県民の生命を守る拠点となります。



4 スポーツ拠点施設整備

南北格差のないスポーツ環境を目指し、県南部への競技・交流拠点の整備を要望。競技力向上と地域活性化を両立する計画を提案しました。

5 更生支援について

出所者や生きづらさを抱える若者を支える一般財団法人かがやきホームへの支援について質問及び要望を行いました。職業訓練や生活支援を充実させ、「やり直せる奈良」を実現するための更生支援体制を知事へ求めました。

予算審査特別委員会

◎9月定例県議会「予算審査特別委員会」では、ソフト面・ハード面様々な角度から、合計8つのテーマについて質問および要望をさせていただきました。

- ①災害対策本部機能強化事業予算
- ②消防学校移転整備事業
- ③部活動地域移行への様々な課題
- ④出所者の就労の場づくり推進事業予算
- ⑤ヤングケアラー支援予算のあり方
- ⑥医療施設等整備促進緊急事業予算
- ⑦医療介護施設による人員基準欠如による減算について
- ⑧光熱費等高騰対策医療機関等支援給付金について



さいとう有紀からの質問及び要望としてまず第一に、災害時における防災拠点としての県庁機能強化や消防学校の移転整備など、防災力の向上を求めました。とりわけ、消防学校での訓練・宿泊・女性消防職員対応施設の整備など、現場の声に基づいた実効性のある計画を提案しました。

また、部活動の地域移行に伴う過疎地域での指導者不足や負担の偏りといった課題を取り上げ、地域の実情に応じた柔軟な制度設計を要請しています。

さらに、出所者の再犯防止と社会復帰の両立を図る就労支援の拡充を要請。また、ヤングケアラーの早期発見体制、建築資材高騰や人材確保に苦しむ医療・介護施設への継続的支援を求め



地理院地図を加工して作成



消防学校 約4.4haを想定

ました。人材確保が困難な医療・介護施設の減算措置は現場を疲弊させることに繋がっており、柔軟な運用と支援策の拡充を要望。さらに光熱費高騰に直面している医療機関等への迅速かつ公平な給付金支援など、生活と地域を支える医療・福祉等の現場を守るための施策を求めました。

「命を守る」「暮らしを支える」「未来を育てる」を軸に、現場からの提案を知事・執行部に届けました。

録画配信は
右記のQRコードから
ご覧いただけます。



9月議会代表質問



厚生委員会



予算審査特別委員会



厚生委員長としての活動



国立療養所長島愛生園・
邑久光明園に訪問

昨年、厚生委員長を仰せつかり、視察や訪問をさせていただく中で、たくさんの方の学びの機会がありました。

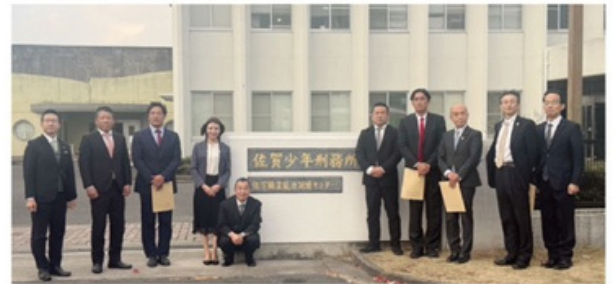
長島愛生園・邑久光明園では奈良県出身の県人会会長より、ハンセン病患者が当時の誤った隔離政策により故郷である奈良県に帰ることができず、生涯を終えたというお話を伺いました。差別を受けた中でも強く懸命に命を全うされたハンセン病患者に想いを馳せ、ひとりの政治に携わる者としてこの教訓を胸に差別や偏見のない社会づくりに力を尽くしてまいりたいと、改めて強く感じた大切な機会となりました。



奈良県南方諸地域戦没者
追悼式に参列



明日香村保健福祉センターでの視察



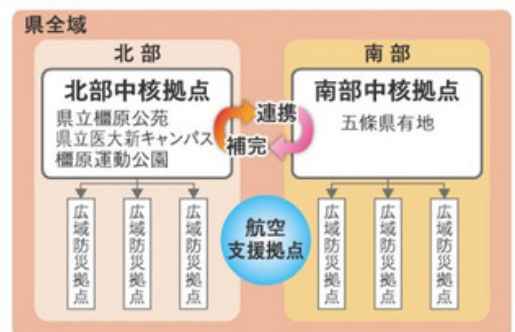
佐賀少年刑務所を視察

南部中核拠点～今後の展望～

令和7年3月に「奈良県災害応急対策（防災拠点）基本構想」が策定されました。現在奈良県では9施設を広域防災拠点として指定していますが、体系的な整理がなされていない、災害リスクのある施設が含まれるという課題もあり、過去の大規模災害における対応や他府県の事例を踏まえ、複数の核となる拠点を配置することとなりました。県北部の核となる北部中核拠点を橿原市に、南部の核となる南部中核拠点を五條市に設け、相互に連携・補完することにより、災害時に迅速な対応ができるようになるというものです。

五條市に、県民の生命、財産、暮らしを守る「南部中核拠点」が建設されます。南海トラフ巨大地震などの災害発生時に全国からの応援部隊や支援物資を迅速に受け入れ、被災地に展開する拠点となります。防災拠点については、山下知事就任後に大きな事業見直しの方針が示され、紆余曲折ございましたが、奈良県全体の防災に資する一定の方向に軌道修正できたのではないかと考えております。そして、新しい消防学校も五條市への移転が決まり、今後は南部中核拠点との一体整備が行われる予定です。

奈良県提供：
奈良県災害応急対策（防災拠点）基本構想より



奈良県提供：南部中核拠点
第一段階整備イメージ図

ここ五條から、奈良県の安心を支える。この地域から命を守る力が育まれます。私は議場で何度も防災拠点の必要性を訴え続けてまいりました。また、インフラ整備や医療や介護の現場も、子どもたちの居場所も、もっと安心できる五條にしていきたい。小さな声も、大きな願いも受け止め、引き続き丁寧に県政へ届けてまいります。これからも、みなさまと共に、まっすぐに行動してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

3段階での整備計画となっており、第1段階として令和7年度にヘリコプター発着場、第2段階として16年度に拠点の中心となる「コアゾーン」の整備完了を目指す。